

四日市ドーム

指定管理者候補者選定審査報告書

令和元年10月

四日市市指定管理者選定委員会

四日市ドーム指定管理者の候補者選定に係る審査結果について

四日市市は、四日市ドームにおいて、地方自治法第244条の2に規定する指定管理者制度により管理・運営を行うため、四日市市公の施設に係る指定管理者の指定の
手続等に関する条例（平成17年四日市市条例第9号）第2条第1項に基づき、指定
管理者を募集しましたところ1団体（以下「応募者」という。）から応募がありました。

四日市市指定管理者選定委員会（以下「選定委員会」という。）は、応募者について
提出書類とヒアリングを基に総合的に審査し、指定管理者の候補者を選定しましたの
で、その結果を次のとおり報告します。

令和元年10月16日

四日市市長 森 智広 様

四日市市指定管理者選定委員会

委員長 青木 雅生

委員 数馬 桂子

委員 川尻 秀納

委員 小粥 吉美

委員 先瀬 宏紀

委員 東 幸太郎

委員 水野 剛

1 施設の名称

四日市ドーム

2 指定の期間

令和2年4月1日～令和7年3月31日

3 審査の内容

四日市ドームの候補者の選定

4 募集及び選定の経過

選定委員会による募集要項の審査	令和元年	6月10日	(月)
募集要項の配付開始、HP掲載	令和元年	6月12日	(水)
応募説明会	令和元年	6月21日	(金)
質問書受付(第1回)	令和元年	6月24日	(月)
		～6月25日	(火)
(第2回)	令和元年	7月9日	(火)
		～7月10日	(水)
質問書回答(第1回)	令和元年	7月8日	(月)
(第2回)	令和元年	7月18日	(木)
指定申請提出期間	令和元年	7月22日	(月)
		～7月31日	(水)
選定委員会による応募者ヒアリング	令和元年	10月2日	(水)
選定委員会による総合審査	令和元年	10月16日	(水)

5 指定管理者応募者名

JNスポーツグループ

代表団体 東京都港区芝三丁目23番1号

株式会社JTBコミュニケーションデザイン

代表取締役 細野 顕宏

構成団体 特定非営利活動法人四日市市スポーツ協会

理事長 山田 源嗣

株式会社NTTファシリティーズ 東海支店

東海支店長 西村 憲治

6 選定審査の方法

(1) 提出書類の確認

応募者からの提出書類については、募集要項に定める応募の資格等を満たし、適正に記載されていることを確認しました。

(2) 応募者ヒアリング

応募者に対し、応募者ヒアリングへの出席を求め、提案内容等についての説明及び質疑応答を行いました。

実施日 令和元年10月2日(水)

場 所 四日市市役所6階 災害対策本部員会議室

要 領 40分間のヒアリング(団体説明20分、委員質疑20分)

(3) 総合審査

提案内容の審査については、応募者の指定申請等書類及びヒアリングの内容を基に、選定委員会において、選定審査基準〔別紙1〕に掲げる評価項目ごとに5段階評価を行い、評価項目ごとの配点に5段階評価に対する率を乗じて得られた点数を全項目加算(85点満点)し、得られた各委員の点数を合算したものを、85点満点換算して応募者の提案内容の得点としました(小数点第2位まで求め、四捨五入)。

提案価格の審査については、応募者が1団体のみであったことから、配点の15点を提案価格の得点としました。

これら提案内容と提案価格の総計得点(100点満点)において、標準点を満たしますので、応募者を候補者として選定しました。

7 選定結果

指定管理者候補者 JNスポーツグループ

8 選定結果の概要

評価項目	総得点	JNスポーツグループ
提案内容・評価点(a)	85	57.2
提案価格 5ヶ年(単位:円)	—	342,442,000
提案価格・評価点(b)	15	15.0
総計(a+b)	100	72.2
順位	—	1

詳細な評価得点結果は、指定管理者候補者選定審査票(集計表)〔別紙2〕のとおりです。

9 審査講評

四日市ドームは、市制施行100周年を記念し、市民の健康づくり、体力づくり及び競技力の向上を図る場並びに多種多様なイベント開催の場を提供するために、平成9年に設置された全天候型の多目的施設です。

設置から22年が経過し、施設の経年劣化が進んでおり、中でも、老朽化した設備に対する対応が課題となっています。令和3年に開催される「三重とこわか国体・三重とこわか大会(以下「両大会」という。)」に向けて、計画的な改修を予定している

ものの、日常点検を含めた施設管理が重要となっています。また、令和3年度の両大会開催に向けてのPRや障害者スポーツの普及等が求められます。

そこで、四日市ドームの指定管理者になろうとする団体について、四日市ドームの設置目的を踏まえ、施設の維持管理を的確に行うことや、利用者が安心かつ快適に利用できるような施設の管理運営、また、両大会開催に向けた利用者調整において、一般利用者が予約・利用できる環境整備という観点から、指定管理者候補者選定審査基準〔別紙1〕に基づいて検討し、審査しました。

まず、JNスポーツグループは、現指定管理者であり、四日市ドームのこれまで5年間の管理運営の実績に基づいた提案が示され、指定管理者としての基本的な考え方は理解しており、今後5年間においても、利用者に安心して利用いただけることが期待できます。

また、両大会開催に向けた利用者調整においても、施設稼働率が100%に近い状況の中で、これまでの経験を生かしながら、一般利用を確保するため、定期的な利用者に対して情報提供を行うなど、積極的な提案がされており、評価できます。

両大会のPRについても、ホームページ等で、開催日までのカウントダウン表示の掲載や、チラシ、ケーブルテレビ等の媒体を活用して取り組んでいくということが明確に示されています。

さらに、障害者スポーツの普及・振興を図るため、パラリンピック公式種目であるボッチャについて、交流会を開催するなど、具体的な取り組みを提案しており、評価できます。

加えて、イベント誘致では、多目的施設であるという特徴を捉え、施設の利用幅が広がる音楽イベントの誘致をさらに継続していく提案があり、今以上の可能性を探る積極的な姿勢は評価できます。

しかし、複数ある新たな提案について、実現に向けて解決しなければならないものも散見されます。実現性の高い提案については、これまでの経験を生かしながら、取り組んでもらうとともに、チャレンジングな提案についても、施設利用の可能性を広げる観点から、市と十分な協議のもと、できる限り事業が実現されることを要望します。

なお、施設管理については、修繕の必要な不具合が生じた場合は、利用者目線に立った修繕が求められます。解決に向けた方策がスムーズに行われるよう、市と迅速かつ十分な情報の共有のもと、速やかな修繕が強く望まれます。

今後、施設の経年劣化や設備の老朽化が進む中、指定管理者には、利用者目線に立った施設管理や修繕について、積極的な姿勢を求めるとともに、市も施設設置者としての責任のもと、指定管理者と協力体制をさらに深め、より適切な施設管理を推進していくことを強く要望します。

以上により、総合的に審査した結果、JNスポーツグループを四日市ドームの候補者として選定します。

〔別紙1〕

指定管理者候補者選定評価基準

区分	評価項目		評価基準	配点			
	大項目	中項目		中項目	大項目		
提案内容	1	基本的な考え方	施設の性格や目的等に合致した方針があること	施設の性格や設置目的、現状と課題、指定管理者となる意義や責務について、認識があるか。	4	13	
			市民の平等な利用が確保されていること	国体開催を含め、市民の平等な利用について、考え方の明示があるか。 事業内容に偏りがあり、利用者が限られていることはないか。 施設の性格や設置目的等から、本来、利用できるべき利用者が排除されていないか。 正当な理由なく一部の市民に利用制限や優遇を行うことが無いよう、利用者の制限や優遇事項について、正しく確認しているか。	5		
			施設の効用が最大限発揮されていること	利用促進に向けた見直し方針等の明示があるか。 利用者の利便性を高めるサービスや工夫の明示があること。 経費節減等について具体的事項の明示があること。	4		
	4	団体の経営状態 (経営の健全性)		団体の経営理念や方針は指定管理者として相応しいものか。 団体の経営状況は良好か、不測事態や資金需要の集中に対する余裕はあるか。 過去の決算や業績から経営の安定性を欠くような点はないか。	11	11	
			施設管理運営の実施方針 (合目的性)	団体の実施方針は、市の施設運営方針や管理の基準等を逸脱していないか。 基本的な考え方を補完する実施方針となっているか。 国体に向けて「美観」への明示があること。	5		
	5	事業計画	施設の運営体制や組織（責任性、実行性）	現場責任者、有資格者の配置、指揮系統など、責任権限が明示されているか。 業務従事者の勤務割振、勤務時間等は適正か。 市や関係機関との連携や協働について、考え方を明示しているか。 従事者研修や業務指導に関する方針や計画が立てられているか。 収支の均衡は適正か。収入と支出項目に漏れがないか。 過小又は過大な見積りはないか。積算根拠や方法に誤りがないか。	12		
			事業への具体的な取組み方 (機能性、独創性)	国体開催に向けたPR事業に関する提案内容は適切か。 障害者スポーツ普及等に関する提案内容は適切か。 各種教室、一般公開等の実施に関する提案内容は適切か。 イベント誘致に関する提案内容は適切か。 管理区域の確認、業務範囲に漏れや逸脱がないか。 施設や附属設備の保守点検作業は基準や仕様を満たしているか。 利用者の苦情や要望、意見等への対応や処理体制の明示があるか。 業務の第三者委託は、施設管理の全部又は主たる部分に当たらないか。 地域や他団体と連携して、施設の魅力を高める方策があるか。	20	59	
			適正な管理や経理（明瞭性、規律性）	日常点検、修繕及び美観への対応に関する提案内容は適切か。 事務処理や会計処理の基準を整備しているか。 事務会計処理のできる人を確保しているか。 経理帳簿・台帳等の整備について明示があるか。 情報公開や監査請求について理解があるか。 パソコン等ITを活用できる職員や機器を確保しているか。 業務報告や事業報告の期限内作成について明示があるか。	10		
		安全管理、緊急時等の対応 (安全性)		安全対策を明示するとともに、業務従事者の教育、訓練の実施計画があるか。 リスクに対する適切な範囲の保険付保の用意があるか。 緊急時連絡網、市への通報ルール等の明示があるか。 犯罪防止、秘密保持、個人情報保護等セキュリティ対策をしているか。	5		
			環境、障害者等への配慮 (社会性)	省エネ・環境負担の軽減方策、廃棄物処理方策の明示があるか。 周辺環境や地域住民等への対応について考え方の明示があるか。 障害者、子ども、高齢者の利用対応についての考え方の明示があるか。	4		
			過去の実績等	類似施設や関連業務の管理運営実績があるか。	3		
		6	地域貢献		市内に本店又は支店等の活動拠点があるか。	0.5	2
					障害者について法定雇用率を達成している、又は障害者雇用があるか。	0.5	
					育児休業制度等が就業規則等に規定されているか。 男女共同参画に対する取り組みがあるか。	0.5	
					社会福祉活動や環境保全活動等の地域貢献活動の実績があるか。	0.5	
提案価格		提案価格（価格点）	価格点 = 15 × (最低提案価格 / 当該提案価格)	15	15		
合計				100	100		

得点付与の方法

評価	判断基準
A	特に優れている
B	優れている
C	普通
D	やや劣っている
E	劣っている

[別紙2]

指定管理者候補者選定審査票(集計表)

審査対象施設	四日市ドーム
--------	--------

区分	評価項目		配点	委員数	総配点	JNスポーツグループ	
	大項目	中項目				総得点	
提案内容	1		施設の性格や目的等に合致した方針があること	4	7	28	20.0
	2	基本的な考え方	市民の平等な利用が確保されていること	5	7	35	24.0
	3		施設の効用が最大限発揮されていること	4	7	28	21.6
	4	団体の経営状態（経営の健全性）		11	7	77	50.6
	5	事業計画	施設管理運営の実施方針（合目的性）	5	7	35	24.0
			施設の運営体制や組織（責任性、実行性）	12	7	84	50.4
			事業への具体的な取り組み方（機能性、独創性）	20	7	140	104.0
			適正な管理や経理（明瞭性、規律性）	10	7	70	42.0
			安全管理、緊急時等の対応（安全性）	5	7	35	21.0
			環境、障害者等への配慮（社会性）	4	7	28	19.2
			過去の実績等	3	7	21	14.4
	6	地域貢献	・市内の活動実績	0.5	7	3.5	2.2
			・障害者雇用	0.5		3.5	2.5
			・男女共同参画	0.5		3.5	2.1
			・市内の地域貢献	0.5		3.5	2.7
	合 計			85	7	595	400.7
	a. 評価点（85点換算）					85	57.2
提案価格	提案価格		/			¥342,442,000	
	b. 価格点（15×最低提案価格／当該提案価格）				15	15.0	
総 計（a + b）					100	72.2	
順 位						1	